

平成20年12月18日

地域果樹振興対策会議 御中

広島県果樹振興対策会議

## かんきつ類寒害緊急対策について(第2報)

広島地方気象台発表の週間天気予報によると、12月23日(火)に最低気温が $-1^{\circ}\text{C}$ になることが予想されています。

12月21日頃に気圧の谷が通過した後は冬型の気圧配置となり、一時的に強い寒気の南下が予想されています。23日から24日は、福山を中心に放射冷却の影響も受けるため、最低気温が $0^{\circ}\text{C}$ を下回る確率が大きくなっています。

生産者に対し、次の事項について指導を徹底してください。

1) ネーブル・はるみ・ポンカン・八朔・レモン(規格に達したものは)採取を早める(特に外成り果)。

採収したものは仕分けて貯蔵する。

2) 樹上越冬用の果実は凍結防止対策を徹底する。

なお、凍結防止対策には下記の方法が有効である。

(1) 寒冷紗等による樹冠の被覆

(2) 果実への袋かけ

3) 予措・貯蔵中の果実については、貯蔵庫内、棟下等で低温に遭わさないようにする。室温が $2^{\circ}\text{C}$ 以下になる時は毛布の被覆や補助暖房等により保温する。

---

[HOME](#) | [BACK](#) |